希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

伝言板

▼お菓子ありがとうございます　福島市立佐原小学校にお菓子を送った、東京都世田谷区の堀川千津子さんに、受け取った女児とその母親(38)からの伝言です。「南相馬市から避難してきました。原発事故の先の見えない不安ばかりが大きく、落ち込むばかりですが、温かいお心遣いがありがたく涙が出ました。ありがとうございました」。ラムネやガムとともに配られた堀川さんの手紙には、「困難を乗り越え、強く明るく成長してください」と書かれていたそうです。

▼代々木公園でチャリティーコンサート　8日12～20時、東京都渋谷区の代々木公園イベント広場でチャリティーコンサート「3・11　Pray　for　Japan」が開かれます。雨天決行。予約不要です。軽食の屋台が出ます。出演者はサンプラザ中野くん、中西圭三、向谷実、ダイアモンド☆ユカイ、氏神一番の各氏らという豪華な顔ぶれです。入場無料ですが、被災地に「愛の餃子」と名付けたギョーザの炊き出しをするための義援金を会場で募ります。

ボランティア

災害支援ナースの調整役
現場のトラブルに対応

寺師栄さん

日本看護協会（東京都渋谷区）と各都道府県の看護協会は、特別な研修を受けた「災害支援ナース」を被災地に派遣している。避難所にナースを配置する調整役を宮城県で務めた、西南女学院大学（北九州市小倉北区）主任教員で、看護師の寺師栄さん(61)は「一人一人が力を発揮してくれた。参加者が学んだものは大きい」と振り返る。

災害支援ナースは、個々の看護師が休暇を取って支援活動に参加する無償のボランティア。各協会に事前に登録し、災害時に派遣される。これまでに現地入りしたナースは900人を超える。

寺師さんは、4月11～18日に現地入り。約60人を石巻市と気仙沼市の避難所に効率よく配置し、現場で起こるトラブルや相談に対応した。

ナースは避難所で、被災者が健康を維持できるように環境を整えたり、調子が悪い人を早い段階で見つけて、専門機関に引き継ぐなどの役割を果たす。泊まり込み、24時間態勢で寄り添うことで「被災者に安心してもらう意味も大きい」と語る。

寺師さんは千里救命救急センター（大阪府吹田市）で長年勤務し、阪神大震災でも支援に駆け付けた。

「災害はいつどこで起こるか分からない。現在の被災地対策とあわせて、力を入れて災害支援ナースを育てなければならない」と強調した。【銭場裕司】

サポート情報

東日本大震災

2日現在

労働・雇用

■ハローワーク

大型連休中も開いているハローワーク及び電話相談窓口は次の通り。

＜岩手県＞いずれも10～17時。沿岸部の久慈、宮古、釜石、大船渡。被災した事業主や労働者、その家族からの相談を受けつけるサポートダイヤルは9～17時、☎0120・948・977または0120・980・783。

＜宮城県＞いずれも10～17時。仙台＝日祝日は仙台市宮城野区榴岡1の6の30のエクセレントスクエア仙台2階に場所を変更、☎022・207・3375▽石巻▽塩釜▽気仙沼臨時相談窓口＝気仙沼市柏崎1の1の気仙沼プラザホテル、☎080・2807・4956、4957

＜福島県＞いずれも10～17時。福島▽平▽会津若松▽郡山▽相馬▽二本松▽相双。被災者ホットラインは9～16時、☎0120・536・088。

医療

＜岩手県＞宮古、釜石、気仙地区の休日当番医は次の通り。3日＝神林医院（釜石市、内科）▽4日＝堀医院（同、眼科、耳鼻咽喉＝いんこう＝科）、えんどう消化器科内科クリニック（大船渡市）▽5日＝加賀谷消化器科内科医院（釜石市）、いとう耳鼻咽喉科クリニック（大船渡市）▽8日＝加賀谷消化器科内科医院（釜石市）、吉浜診療所（大船渡市、内科）

＜宮城県＞休日・夜間診療案内は次の通り。仙南地区☎0224・53・3409▽仙台地区☎022・216・9970（仙台市内は☎022・216・9960）▽大崎、栗原、登米地区☎0229・24・2267▽石巻地区☎0225・95・3290▽気仙沼地区☎0226・24・2154▽福島第1原発事故に関する健康・医療相談窓口☎022・211・3323。宮城県庁1階。受付時間は9～17時。

＜福島県＞救急医療情報案内サービス☎0120・963・990

＜茨城県＞救急医療情報システム☎029・241・4199

■歯　科

岩手、宮城の県歯科医師会が沿岸地域の避難所を中心に巡回診療をしている。

＜岩手県＞3日＝豊間根中▽4日＝山田南小（いずれも10～15時）▽5日＝山田北小（10～12時）、大沢小（14～16時）▽6日＝山田高（10～15時）▽7日＝大浦漁村センター（10～12時）、瑞然寺（14～16時）

＜宮城県＞移動診療車による巡回診療を連休中も続ける予定。山元町役場隣、南三陸町平成の森（いずれも9～16時）、鹿妻小（10～12時）、渡波小（13～15時）

給付・貸付

■弔慰金と障害見舞金

災害救助法に基づき、東日本大震災で亡くなった人の遺族に自治体から災害弔慰金が支給される。犠牲者が生計維持者の場合は500万円、他の場合は250万円。また、重度の障害を負った人に災害障害見舞金が支給される。生計維持者250万円、その他125万円。一部市町村で受け付けが始まっている。

■義援金

日本赤十字社や中央共同募金会などに寄せられた義援金は、第1次配分基準が決まっている。死者・行方不明者1人当たり35万円▽住宅全壊・全焼1戸当たり35万円▽福島第1原発から半径30キロ圏内1世帯当たり35万円▽住宅半壊・半焼1戸当たり18万円。実際の配分額は都道府県の配分委員会が決定し、自治体独自の義援金もある。

一部市町村が受け付けを始めている。罹災（りさい）証明書や印鑑、本人確認の書類などが原則必要。受け付け中の主な市町村は以下の通り。

＜岩手県＞◆野田村　住民福祉課で◆宮古市　市役所1階で◆釜石市　シープラザ釜石2階の災対本部で◆大船渡市　保健福祉課で。郵送での申請も可。資料請求は住所、氏名、電話番号などを明記し、ファクス（0192・26・2299）または郵送（〒022―8501大船渡市役所保健福祉課）

＜宮城県＞◆仙台市　市役所本庁舎と各区役所、宮城総合支所、六郷市民センター、七郷市民センターで。郵送での申請も可。被災者支援相談窓口☎022・214・3805◆岩沼市　15日までは市役所6階で◆大崎市　9日から社会福祉課や各総合支所で

＜福島県＞移転した住民が多く、自治体の窓口のほか、郵送での申請も可。申請書は郵送で取り寄せるか、自治体のウェブサイトからダウンロードできる。◆いわき市　各地区保健福祉センターか各支所で。保健福祉課☎0246・22・7612◆相馬市　市役所分庁舎1階で◆南相馬市　本庁社会福祉課または鹿島区健康福祉課で◆広野町　いわき市湯本支所☎0246・43・1331◆楢葉町　会津美里町災対本部（会津美里町出張所）☎0242・56・2155か、いわき出張所☎0246・46・2551、2552など◆富岡町　災対本部☎0120・336・466など◆川内村　ビッグパレットふくしまCホールなど。災対本部☎024・946・8828◆大熊町　町役場会津若松出張所☎0242・26・3844◆双葉町　町災対本部☎080・3303・6780、6887、4229◆浪江町　災害給付班☎090・1710・8436、8468

桜だより

地震の影響で立ち入り規制や夜間ライトアップの中止あり。カッコ内は満開予想日。

＜岩手県＞◆満開　高松の池＝盛岡市高松▽巽山公園＝久慈市中町▽厳美渓＝一関市厳美町◆もうすぐ満開　紫波城山公園（4～6日）＝紫波町二日町◆もうすぐ開花　福泉寺＝遠野市松崎町駒木

＜宮城県＞◆満開　西行戻しの松公園＝松島町松島▽塩釜神社＝塩釜市一森山

＜福島県＞◆満開　夏井千本桜＝小野町夏井▽福満虚空蔵尊円蔵寺＝柳津町柳津寺家町◆咲き始め　観音寺川の桜（9日）＝猪苗代町川桁◆もうすぐ開花　大鹿桜＝猪苗代町西峰

イベント

連続トークなど「歩きだすために」　3～8日、仙台市青葉区の「せんだいメディアテーク」（☎022・713・4483）1階オープンスクエアで開催。識者らのトークやパネル展示で震災を見つめ直す。毎日11時から「おはなし会」も。いずれも参加無料で予約不要。

メディアテークと市民図書館が3日に再開するのに合わせた催し。同日13時半からのオープニングでは、地元演劇人が宮沢賢治の詩を朗読する。

トークは、4日＝大阪大学長の鷲田清一さん▽5日＝建築家の伊東豊雄さんと東北大教授の小野田泰明さん▽6日＝アサヒビール芸術文化財団事務局長の加藤種男さんと美術家のタノタイガさん（以上15時から）▽7日＝絵本作家のとよたかずひこさん▽8日＝みやぎ音楽支援ネットワーク（以上13時半から）。

避難所を訪れたセラピー犬と触れ合う子供たち＝宮城県気仙沼市で2日午後4時半、丸山博撮影

交通

■鉄　道

JR在来線の運行状況は以下の通り。＜東北線＞全区間で運行＜仙石線＞東塩釜―高城町は今月下旬再開予定＜石巻線＞前谷地―石巻は今月中旬再開予定＜常磐線＞四ツ倉―久ノ浜は今月中旬再開予定

再開の見通しが立っていないのは以下の区間。＜八戸線＞階上―久慈＜岩泉線＞岩泉―茂市＜山田線＞宮古―釜石＜大船渡線＞盛―気仙沼＜気仙沼線＞気仙沼―柳津＜石巻線＞石巻―女川＜仙石線＞高城町―石巻＜常磐線＞亘理―久ノ浜

JR以外の路線の状況は以下の通り。＜三陸鉄道北リアス線＞宮古―小本、陸中野田―久慈で運行＜三陸鉄道南リアス線＞釜石―盛の全線で不通＜仙台空港アクセス鉄道＞名取―仙台空港の全線で不通＜阿武隈急行＞槻木―角田と富野―福島で運行

■バ　ス

主なバスの運行状況は以下の通り。

＜岩手県北バス＞☎019・654・5814　盛岡―仙台、盛岡―郡山、盛岡―福島などで運行＜岩手県交通＞☎019・654・7755　盛岡と大槌、大船渡、陸前高田を結ぶ長距離バスなどを運行＜ミヤコーバス＞☎022・771・5310　仙台―気仙沼、仙台―石巻などで運行＜JRバス東北＞☎022・256・4512（仙台支店）　仙台―いわき、仙台―古川などで運行＜東日本急行＞☎022・218・3131　仙台―登米、仙台―一ノ関などで運行＜仙南交通＞☎022・242・1234　仙台空港―JR仙台駅で運行＜仙台空港鉄道＞☎022・707・2235　仙台空港―JR名取駅で運行＜福島交通＞☎024・531・2706（福島支社）☎024・943・1651（郡山支社）　福島―会津若松、伊達―仙台などで運行

その他

■宿泊受け入れ

被災地や近隣県のホテルや旅館が、被災者向けに割安プランを組んでいる。連休は既に満室の日もある。免許証などの提示が必要な場合がある。

ホテルニューグリーン能代（秋田県能代市、☎0185・54・3511）素泊まり3150円

山形グランドホテル（山形市、☎023・641・2611）素泊まりシングル6000円、ツイン1人5000円など

プチペンションコスモス（宮城県蔵王町、☎0224・34・2686）素泊まり3000円

いさぜん旅館（同県大崎市、☎0229・83・3448）素泊まり3070円

岳温泉喜ら里（福島県二本松市、☎0120・29・2225）素泊まり3150円、1泊2食6150円～

熱塩温泉山形屋（同県喜多方市、☎0241・36・2288）4人部屋4200円、5人部屋5250円など。食事は1人500円～

ペンション・ワインズ（同県南会津町、☎0241・78・3075）素泊まり3000円

温泉宿塚越屋七兵衛（群馬県渋川市、☎0279・72・3311）1泊2食1万1550円。伊香保温泉内での買い物などに使える1000円分の「利用券」付き

横手館（同、☎0279・72・3246）素泊まり4000円、1泊2食6000円～

■洗　濯

営業中の主なコインランドリーの店舗は以下の通り。営業時間短縮の場合がある。

＜岩手県＞コインランドリー09（釜石市平田）▽コインランドリー洗たく村＝遠野（遠野市上組町）、花巻（花巻市東和町）、紫波町（紫波町桜町）、西根（八幡平市田頭）▽ラベージュ久慈本町（久慈市本町）▽神田クリーニング（同市巽町）▽マース北上（北上市北鬼柳＝温泉、簡易宿泊施設併設）▽アクアコインランドリー摺沢（一関市大東町摺沢荒屋敷）

＜宮城県＞ミスターランドリー＝白石（白石市大平森合沖）、角田（角田市角田錦町）▽あらうゾウ＝新田2丁目（仙台市宮城野区新田2）、卸町（同区萩野町3）、南小泉（同市若林区南小泉3）、長町南（同市太白区長町南3）▽エムズ泉中央（同市泉区泉中央3）▽コインランドリーホワイトピア＝仙台館（仙台市泉区館2）、岩出山（大崎市岩出山東川原）、富谷上桜木（富谷町上桜木1）、亘理（亘理町中町東）、栗駒（栗原市栗駒町岩ケ崎下小路）▽コインランドリーデポフレスポ築館（栗原市築館宮野中央2）▽ニコニココインランドリー（角田市梶賀西）▽コインランドリーアラカワ（名取市小山2）

＜福島県＞ホワイトピア＝郡山五百渕（郡山市菜根4）、伏拝（福島市伏拝台田）、新白河（白河市新白河1）、須賀川（須賀川市中宿）、郡山日和田（郡山市日和田町向山）、小名浜（いわき市小名浜寺廻町）▽コインランドリーデポ＝須賀川花岡（須賀川市花岡）、福島森合（福島市森合北向）、郡山富田（郡山市富田町下小次郎木）、いわき小名浜（いわき市小名浜大原甲新地）▽ピカピカランドリー（相馬市坪田北田）▽ミスターランドリー相馬（同市中村塚ノ町）、下亀田（郡山市下亀田）

■被災地へボランティアに行くには■

県外から個人や小規模グループのボランティアを受け付けている主な窓口は次の通り。被災地の災害ボランティアセンター（VC）に直接申し込む場合は、問い合わせの電話をする前にサイト情報の確認を。特記のない限り、宿泊場所や交通手段の提供はない。

＜岩手県＞

宿泊地や食料を確保しやすい内陸部を拠点に、沿岸部の被災地へ、送迎バスでボランティア派遣されている。

◆県VC　☎019・637・9711　県VCと盛岡市社協がそれぞれ同市発着便を、花巻市社協が同市発着便を不定期で運行している。募集は企画ごとにサイトで公開。県VC関連で、旅行会社が東京発着便の募集情報を掲載している

◆遠野市VC「遠野まごころネット」　☎0198・62・1001　遠野市発着便でほぼ毎日派遣し、登録受け付けも随時。事前申し込みが必要。体育館で宿泊可（寝袋などが必要）

＜宮城県＞

一部のVCが、県外からの個人ボランティアも直接受け付けている。

◆石巻市VC　☎0225・23・6015　テントサイト有り。要事前連絡。ゴールデンウイーク中は不可

◆東松島市VC　☎0225・83・5001　5人以上の団体は事前連絡を。ゴールデンウイーク中は不可

◆岩沼市VC　☎080・5949・7541　テント村有り。8人以上の団体は事前連絡を。

＊兵庫県などが設置する「東北自動車道ボランティア・インフォメーションセンター」（☎022・377・3122）が、主に宮城県のボランティア情報を提供している。

＜福島県＞

一部のVCでは、県外からの個人ボランティアも直接受け付けている。

◆相馬市VC　☎0244・36・7827　土日祝日のみ。要電話確認

◆南相馬市VC　☎0244・24・1877　テント泊、車中泊は禁止。要電話確認

◆いわき市災害救援VC　☎0246・22・5501　要電話確認

＜全国各地からボランティアバス＞

全国各地の社会福祉協議会や市民団体、旅行会社などが各地発着のボランティアバスを企画している。募集期間や内容は各団体のサイトなどで公開される。主な団体は次の通り。

◆東京都発着　東京ボランティア・市民活動センター▽日本財団「ROADプロジェクト」▽ピースボート▽トップツアー▽名鉄観光◆栃木県発着　とちぎボランティアネットワーク◆埼玉県発着　富士見市社協▽行田市社協◆愛知県発着　愛知VC▽レスキューストックヤード◆三重県発着　みえ災害ボランティア支援センター

電話帳

●行方不明者相談ダイヤル		
岩手県警		0120・801・471
宮城県警		022・221・2000（9～19時）
福島県警		0120・510・186（9～19時）
●通信・ライフライン		
NTT災害用伝言ダイヤル		171
日本郵便		0120・2328・86（平日8～22時、土日祝9～22時）
東北電力		0120・175・366
●医療		
＜放射線被ばく相談＞		
文部科学省健康相談ホットライン		0120・755・199（9～21時）
放射線医学総合研究所相談窓口		043・290・4003（9～21時）
＜その他＞		
日本医師会		03・3946・2121
日本糖尿病協会		0120・151・721（平日9～18時）
被災がん患者ホットライン（国立がん研究センター）		
紹介状あり		03・3547・5130（平日10～16時）
紹介状なし		03・3547・5293（平日9～18時）
てんかん支援ホットライン		054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク		052・485・5208
●生活支援		
日弁連電話相談		0120・366・556（平日10～15時）
岩手弁護士会		0120・755・745（13～16時）
仙台弁護士会		0120・216・151（10～16時）
福島県弁護士会		024・534・1211（平日14～16時）
全国社労士会連合会		0120・000・528（平日10～17時）
日本司法書士会連合会		0120・445・528（平日10～16時）
あしなが育英会	被災者専用（遺児らに特別奨学一時金を支給）	0120・77・8565
心の相談緊急電話	（13～22時。日本臨床心理士会など）	0120・111・916
チャイルドライン	（月～土16～21時、18歳までの子ども向け）	0120・99・7777
震災関連の悪質商法110番	（10～16時。国民生活センター。岩手、宮城、福島、茨城4県対象）	0120・214・888
●省庁		※平日のみ
公営住宅等情報センター	（9～18時。全国の公営住宅などを紹介）	0120・297・722
住宅の補修・再建（国交省）		0120・330・712（月～土）
行政相談（東北管区行政評価局）		0120・511・556
金融相談（東北財務局）		022・721・7078
中小企業相談（経産省）		0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省）		0120・355・567
年金の相談（日本年金機構）		0120・707・118※
●金融・保険		※平日のみ
ゆうちょ銀行		0120・108・420
住宅金融支援機構		0120・086・353
日本政策金融公庫		0120・154・505（土日0120・220・353）
預金口座照会センター（全銀協）		0120・751・557※
災害地域生保契約照会センター（生保協会）		0120・001・731※
そんがいほけん相談室（日本損保協会）		0120・107・808または03・3255・1306
●移転した役所		
＜岩手県＞		
陸前高田市	エコタウン鳴石	0192・59・2111
釜石市	シープラザ釜石	0193・22・8253
大槌町	大槌小学校	0193・42・2111
＜宮城県＞		
女川町	女川第二小学校	0225・54・3131
南三陸町	町総合体育館ベイサイドアリーナ	0226・46・2600
＜福島県＞		
広野町	FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場	0246・43・1331
楢葉町	会津美里町本郷庁舎	0242・56・2155
富岡町	郡山・ビッグパレット	0120・336・466
川内村	郡山・ビッグパレット	024・946・8828
大熊町	会津若松市追手町第2庁舎	0242・26・3844
双葉町	旧埼玉県立騎西高校	0480・73・6880
浪江町	二本松市東和支所	0243・46・4731
葛尾村	会津坂下町・川西公民館	0242・83・2651
★双葉郡支援センター		0120・006・865

上記8町村の避難住民向け。8～22時。

肩寄せ合い姉妹のように暮らしてきた

「離れたくない」

「仮設」集落入居難しく

岩手・山田の70代

岩手県山田町の避難所に身を寄せる2人の女性が「もう姉妹のようには暮らせないかもしれない」と、仮設住宅への入居に不安を募らせている。2人は70代。津波で自宅が押し流されるまで互いの家を行き来し、肩を寄せ合って生きてきた。ところが、この町の地形では集落単位での入居は難しく、抽選の結果次第では離ればなれになる可能性がある。【平川哲也、写真も】

4月29日、避難先の学校体育館。仮設住宅の申込受付票を手に、皆野川美喜さん(70)は、つぶやいた。「あの時、拾ってもらわねば、今の自分はない。少しでも近くにいて恩返ししたい」。涙がほおをつたった。

9年前の冬の夕暮れ。JR陸中山田駅(同町)のホームだった。皆野川さんは夫の振る舞いに耐えかね、離別の覚悟を胸に、着の身着のまま家を飛び出した。

ぽつんとたたずむホームに、山田湾の波音がした。心は押しつぶされそうだった。「どうかしたの?」。掛けられた声の先に、見ず知らずの女性の笑顔があった。川崎スミさん(76)だった。

ぽつりぽつりと身の上を打ち明けると、川崎さんはこう持ち掛けてくれた。「私も独り身なの。寂しいから、泊まりに来ない?」。離婚を経験し、子どもたちもとうに独立したと話した。どこか似た境遇の2人だった。

それからの約3カ月、川崎さんとの暮らしは夢のようだった。料理をつくり合い、枕を並べて眠った。「血のつながりはないけど、姉妹みたいね」。そう言って笑う川崎さん宅のそばに家を借りた。

3月11日、穏やかだった暮らしが一変した。強い揺れに、川崎さんが皆野川さん宅に駆けつけ、玄関をたたいた。皆野川さんは、右腎臓を摘出した川崎さんの体をおもんぱかり、足取りを合わせて高台を目指した。

石段に足がかかった時だった。「早く!」。きびすを返し、2人の背後からこう叫んでくれた女性の車に飛び乗った。間もなく津波が襲い、一帯をすべてのみ込んだ。

出会ったばかりのころのように、布団を並べて寝る避難所で、皆野川さんは川崎さんの体を気遣う。代わりに配給品を受け取ったり、散歩に誘ったり。

でも、いつまで一緒にいられるのか——。皆野川さんは話す。「自炊して温かいものを一緒に食べたい。離れたくねんだ。まだ恩返しが足らねえもの」

厚生労働省は被災6県に仮設住宅について通知し、「コミュニティー単位での入居方法」を検討するよう求めた。4月28日現在、2813人が避難している山田町は32カ所に2000戸弱を建てる予定だが、建設に適した高台は町内には少ない。町の担当者は「1カ所にまとめて建てるのは難しく、国の感覚は現場からはほど遠い」と嘆く。

被災から間もなく2カ月がたつが、仮設入居の抽選の日取りはまだ決まらない。皆野川さんと川崎さんは2人がこれからどうなるのか、気をもんでいる。

避難所でも床を並べ、姉妹のように生活する川崎スミさん（左）と皆野川美喜さん＝岩手県山田町で

福島県相馬地方の伝統行事「相馬野馬追」に出走する馬で、南相馬市の警戒区域内に取り残されていた28頭の移動が2日行われた＝写真・武市公孝撮影。

相馬野馬追 伝統絶やさぬ

警戒区域外への家畜の移動は禁止だが、同市内の馬主たちが「伝統行事を継続させるために馬の移動を認めてほしい」と、国に要望。国は食用として出荷しないことなどを条件に特例で認めた。

区域外への移動開始

移動前にはスクリーニング検査を実施し、除染が必要な馬はいなかった。警戒区域外にある市馬事公苑に移された28頭は、避難先が決まるまでここで飼育される。馬主の一人は市を通じて「ずっと餌をやれず、元気がなくてやせていた。（区域外に移動でき）ただただほっとしている」とコメントした。

市によると、市内では約200頭が飼育されていたが、震災後に県内外へ移されたり、津波で死ぬなどして約100頭まで減ったという。【神保圭作】

潮干狩り客8割減

千葉 自粛ムード影響か

春の訪れとともに本格化するはずの東京湾の潮干狩りの客足が伸び悩んでいる。余震が続く中、海での行楽を避ける心理が影響していると見られるが、千葉県は、東京湾岸の木更津・富津両市の潮干狩り場への訪問客数が、4月は昨年比1〜2割程度に落ち込んだとみている。2日には、森田健作知事が木更津市の潮干狩り場を訪れ、「（放射性物質も）基準値を下回り安心。大型連休はぜひ潮干狩りに来て」とアサリをほおばってPRした。

木更津漁業協同組合の根本昌彦業務課長によると、団体予約客はキャンセルが相次ぎ、連休期間中も予約は2割程度。東京湾沿岸で、農林水産物から暫定規制値を超える放射性物質が検出されたことはないが、「原発事故による放射能の影響はないのか」と問い合わせもあり、風評被害も感じるという。【黒川晋史】

放射性物質を牧草から検出

栃木・埼玉

栃木、埼玉両県は2日、両県内で先月下旬に採取した牧草から国の暫定許容値を超える放射性物質が検出されたと発表した。

栃木県によると、那須町の牧草から1キロ当たり910ベクレルの放射性セシウム（暫定許容値は乳用・肉用牛で同300ベクレル）、県南部（小山市、足利市など）の牧草から90ベクレルの放射性ヨウ素（暫定許容値は乳用牛で同70ベクレル）を検出。また埼玉県によると、熊谷市と東秩父村で採取した牧草から放射性セシウムをそれぞれ420ベクレル、340ベクレル検出した。両県とも震災後に収穫した牧草を乳用牛などに与えないよう要請、人体への影響はないとしている。【中村藍、大谷津統一】

時効特例給付 1564万円過払い

年金機構

日本年金機構は2日、記録漏れで支払われなかった年金をさかのぼって支給する「時効特例給付」で、6人に計約1564万円の過払いと、2人に計約11万円の未払いのミスがあったと発表した。年金記録の訂正に伴い、年金額を再計算するプログラムにミスがあったという。【石川隆宣】

タンカー襲撃で海賊少年を起訴

自称ソマリア人

アラビア海で商船三井が運航するタンカーが海賊に襲撃された事件で、東京地検は2日、自称ソマリア人の少年を海賊対処法違反（乗っ取り未遂）の罪で起訴した。家裁送致された後、検察官送致（逆送）されていた。今後、裁判員裁判で審理される。【山本将克】

取り調べ可視化 初の容疑者起訴

郵便料金着服事件

郵便事業会社（日本郵便）社員が郵便料金を着服したとされる事件で、東京地検特捜部は2日、同社昭島支店業務企画室課長代理、櫛原也寸志容疑者(45)を業務上横領の罪で起訴した。最高検は東京、大阪、名古屋の各地検特捜部が逮捕した事件に関し、取り調べの録音・録画を試行する方針を明らかにしたが今回初めて実施された。

起訴状によると、櫛原被告は09年1月〜今年3月、郵便料金として預かった小切手計約310枚（額面計約2億6700万円）を自分の口座に入金したとしている。【島田信幸】

◆福島県に義援金47億円

日本赤十字社と中央共同募金会は2日、福島県に義援金47億3200万円を送ったと発表した。4月28日付。福島県への送金は230億6000万円に続き2回目。両団体には4月28日までの集計で総額1935億円の義援金が寄せられている。

◆被災路線復旧へ要望書

JR東日本の清野智社長は2日、震災で被災した八戸、山田、大船渡、気仙沼、石巻、仙石、常磐の沿岸7線区の復旧支援要望書を大畠章宏国土交通相に提出した。各線区とも津波で駅舎や線路、橋桁が流失するなどした。

◆「原発廃止を定款に」東北電株主が請求書

東北電力の株主らでつくる市民団体「脱原発東北電力株主の会」は2日、東北電力（本社・仙台市）に、原発の廃止を定款に明記するよう求める株主提案権行使請求書を提出した。来月の株主総会で審議される見通し。

◆浜岡3号機再開に反対

黒岩祐治神奈川県知事は2日の記者会見で、中部電力が定期点検中の浜岡原発3号機（静岡県御前崎市）を7月に運転再開予定としていることについて、「私は脱原発の旗を振っており、（再開は）反対。神奈川にとっても重要な問題で川勝（平太・静岡県）知事とも話がしたい」と述べた。

◆子ども手当予算計上へ

神奈川県の黒岩祐治知事は2日、松沢成文前知事が負担を拒否した今年度の子ども手当の県負担分に関し、予算計上する考えを明らかにした。「つなぎ法案」成立を受け県の方針を転換した。

第3104回ナンバーズ
数字選択式全国自治宝くじ
（2日・カッコ内は口数）
ナンバーズ4　0720
ストレート
72万8700円(67)
ボックス
6万700円(173)
セット・ストレート
39万4700円(145)
セット・ボックス
3万300円(761)
ナンバーズ3　606
ストレート
7万6700円(172)
ボックス
2万5500円(442)
セット・ストレート
5万1100円(301)
セット・ボックス
1万2700円(570)
ミニ・下2ケタ
7600円(477)

第551回ロト6
数字選択式全国自治宝くじ
（2日・カッコ内は口数）
本数字＝15、16、19、21、26、42
ボーナス数字＝10
1等
1億1172万5000円(2)
2等　2513万7900円(8)
3等　93万5300円(258)
4等　1万4000円(15142)
5等　1000円(282252)
※次回繰越当選金　0円

三陸物語 Sanriku Monogatari

丸太抱き 必死に泳ぐ

釜石の漁師 菊池忠彦さん ②

津波にのみ込まれて漂流した岩手県釜石市の漁師、菊池忠彦さん(39)。三陸鉄道の橋脚に絡みついたロープにしがみついたまま、寒さに震えた。

寒流が南下する3月は1年で最も水温が下がり、「落ちたら5分も持たない」というのが海の男の常識だ。加えて、釜石に設置されたアメダス（地域気象観測システム）が津波に破壊される直前に記録した午後3時の気温は、5・0度。普通の状態でも、着込まなければ耐えられない寒さだった。

「今度は、凍え死にか……」。幾度も心が折れそうになった。水をどす黒く染めたヘドロと油の臭いに、吐き気とめまいを覚えた。

死の影を断ち切るように気を奮い立たせると、傍らに丸太が流れて来る。それを引き寄せ、じっとしていると引き潮が少しずつ収まってきた。

「こうなりゃ、一か八かだ」。屋上に人影が見える国土交通省の港湾事務所を目指し、丸太を胸に抱くようにして平泳ぎで橋脚を離れた。流れにあらがうように必死に100メートルほど泳いで、堤防にたどりついた。

よじ登ろうとしたが、体が重い。ジャンパーが水をためて膨らんでいた。ファスナーを開けて水を出し、岸に上がると下半身が丸出しになっていた。知らぬ間にズボンやパンツが激流にさらわれていたのだ。体は傷やあざだらけ。特に右太ももの傷はパックリと開いて、血がにじんでいる。

「溺れる人を助けっ時は、服脱いで飛び込めっていうべ。服着てると泳げねえのさ。オレもズボンはいたままなら力尽きてたべな」

新日鉄釜石の構内に転がっていた車の中に、男物のジャンパーがあった。それを拝借し、腰に巻いた。【萩尾信也、写真も】

◇

「三陸物語」は火〜土曜日に掲載します。

「あの橋脚に巻きついていたロープにつかまって助かった」と話す菊池忠彦さん＝岩手県釜石市で

希望新聞

恩返しのボランティア

（左から）田中ヤス子さん、娘の美保子さん（40）、夫文雄さん（67）

声 被災地から

福島

福島市のあづま総合運動公園体育館に葛尾村から家族6人で避難してきた田中ヤス子さん(63)「避難所に来て1カ月で94歳のお姑さんが亡くなりました。自宅にいた時はピンピンしていて最低限のことは自分でできたのにトイレもお風呂も遠いので車椅子生活。初め来た時は囲いもなく寒かったから風邪をひいてね。年寄りは新しいところに慣れるのも大変。避難所は仕事もないし、ご飯ももらえる。何もしない生活を一度してみたかったけど1カ月たったら地獄。福島市への恩返しのつもりで最近ボランティアを始めました」

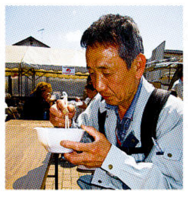
岩手

宮古市田老小林の水産物加工場職員、山本きみえさん(54)「家族は全員無事でしたが、家は浸水し、漁師の夫の船はばらばらに壊れました。勤めていた加工場も津波で流されました。これからの生活のめどはたっていません。庭のプランターに植えていた山野草のシラネアオイが直径3センチほどの紫色の花をつけているのに4月29日に気づきました。うれしくなりました。7年前に亡くなった夫の母が好きだった花です。泥をかぶってもうだめかと思っていましたが、植物は強いなあと思いました」

津波の泥をかぶっても花をつけたシラネアオイを見つめる山本きみえさん（左）と夫裕樹さん（55）

宮城

石巻駅前の広場で炊き出しで食事をした石巻市の大日向栄次さん(58)「津波で自宅が流され、今は仙台の娘の家に身を寄せています。市役所に用事があり、戻ってきました。今後は仙台に住むことになりそうです。でも、知らない土地で暮らすのも抵抗があり、なかなか覚悟が決まらないのが正直なところです」



石巻駅前で食事をする大日向栄次さん

ミニニュース

■被災失業者の就職支援　人材派遣のパソナグループ（本社・東京）は今月から、東日本大震災や福島第1原発事故による失業者を対象にした、就職・生活再建支援事業を開始する。大阪府からの受託事業で募集人数は70人。パソナが一定期間雇用し、給与も支給しながら実務研修を行う。個別のキャリアカウンセリング▽同府営住宅などを無償提供▽健康・生活の24時間相談窓口なども用意。問い合わせは「震災被災者JOBフェニックス事業」事務局☎06・6292・8177。

■ユニセフこどもバス遠足　日本ユニセフ協会は3、5、7、8日、岩手県沿岸地域の子どもを対象にバス遠足を実施する。遠野ふるさと村で餅つきや昔話の体験をしたり、盛岡市動物公園を訪れるなどの5コース。対象は3歳〜中学生。宮古、釜石、陸前高田・大船渡など7地区からバスが出る。また4日は午前10時から盛岡南公園球技場で、Jリーグ・鹿島アントラーズの小笠原満男選手らとの交流会を開く。対象は3歳〜高校生。陸前高田、大槌、釜石などからバスの送迎がある。ともに参加無料。保護者同伴が必要な場合もある。問い合わせや申し込みは☎0120・183・705。バスが定員になり次第、締め切り。

■三井造船が大型貨客船で支援　三井造船は2日、宮城県・石巻港に17〜31日、自社で保有する大型貨客船（約1万4500トン）を停泊させ、東日本大震災の被災者に無料で食事や入浴などのサービスを提供すると発表した。利用者には船内で1泊し、シャワーのついた個室でくつろいだり、バイキング形式の夕食や朝食を食べて過ごしてもらう。1日最大181人、延べ約2400人を受け入れる。

三井造船は3月下旬、国土交通省に船の提供を申し出て、港の使用条件などが合致した石巻港への派遣が決まった。船は現在、岡山県玉野市の同社事業所に停泊中で、14日、石巻港に向けて出航する。同社は「避難所暮らしの疲れを癒やしてほしい」と話している。利用申し込みは石巻市保護課☎0225・95・1111。

遠くの被災地より

目的定め前を向こう

阪神大震災で花店全壊

石井マス子さん(70)

＝鳥取県智頭町

神戸市東灘区に夫と開いた花屋と自宅が阪神大震災（95年）で全壊しました。32年勤めた会社を退職して開業した念願の店でした。開店して2年。これから軌道に乗るかな、という時でした。

「せっかく始めたのだから」と、その年の秋に店を再建し、同じ建物で喫茶店も始めましたが、約3年後に夫が病気で亡くなりました。震災で疲れてしまったのかもしれません。子どももおらず、それから約1年間はボーッとしてしまいました。

それでも、時間がたつにつれて「後ろを向いても始まらない。もう前を向こう」と思うようになりました。過去は戻らないのです。その後の十数年間は、必死に店を続けてきました。必死に生きていた分、つらい思いを忘れることができました。応援してくれた人たちに応えたいという思いもありました。

阪神大震災の被災者の知り合いには、ストレスなどで病気になった人もいます。「みんな一緒に前を向こう」とは言われへんよね。それでも生きる目的を定め、「自分がここにおりますよ」という場所をしっかり持っていてほしいです。

私は1人で店を続けてきたことが自信になりました。2年前に鳥取県智頭町に引っ越し、好きなお花を育てながら「花祥庵」という喫茶店をやっています。被災者の方々に店でゆっくりしてもらうことが、私ができるせめてものお手伝いです。【聞き手・宇多川はるか】